



育成塾通信 No.3 2019.12.22発行

育成塾とは、国立研究開発法人 科学技術振興機構による「科学技術イノベーションを牽引する傑出した人材の育成に向けて、理数・情報分野の学習等を通じて、高い意欲や突出した能力を有する小中学生を発掘し、さらに能力を伸長する体系的育成プランの開発・実施を行うことを支援」するジュニアドクター育成塾事業として、2019年から信州大学が採択されたものです。

「産業フェアin信州2019」見学と
「中学生ロボコン大会」, 「U15長野プログラミングコンテスト」見学

長野ビックハットで開催された「産業フェアin信州」の展示会を見学してきました。「U-15長野プログラミングコンテスト」や「N-robo2019善光寺平ロボコン」も開催され、受講生の中からも参加している仲間がいました。

AI技術やIoT, プログラミングや産学官連携など、県内外から多くのブースが出典されており、参考になる作品が様々ありました。



第7回
講座

見学の合間には、チームプロジェクトについて相談を行い、講座終了後はいくつかのグループはFabLab長野を訪れ、制作の打ち合わせを行いました。





「グループ制作」

グループ制作発表会に向け、グループごと制作を行いました。

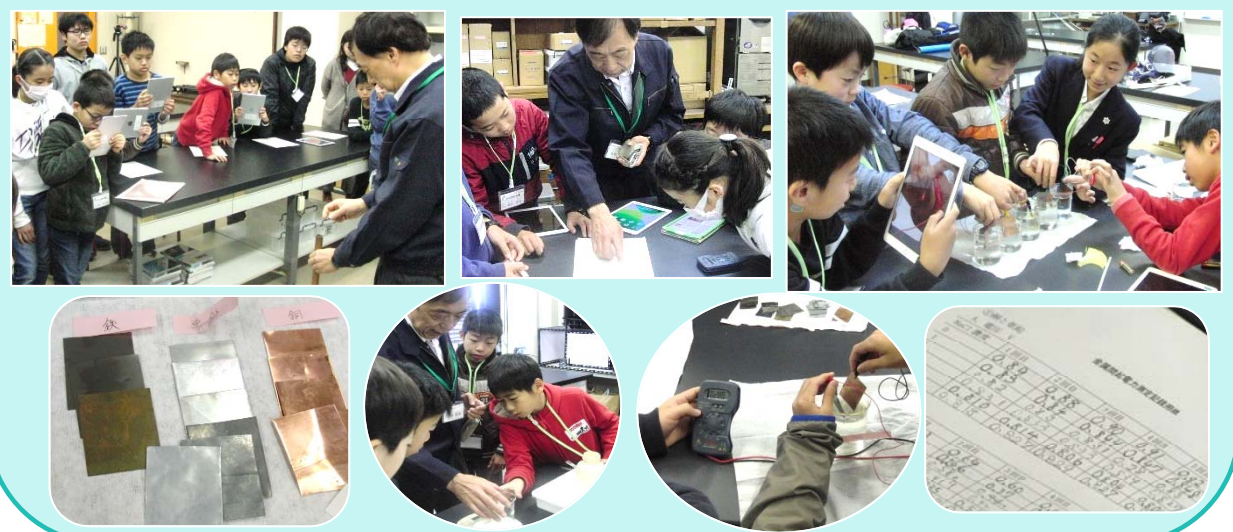
第8回
講座



「金属電池，簡単メッキ実験」と「グループ制作」

講座では、佐藤先生に金属の実験をしていただきました。5種類の金属板と異なる濃度の食塩水を使って実験し、データを取り、高性能な電池になる条件を調べました。電池の原理も知りました。

第9回
講座



編集後記

いよいよ「火星での学校生活を快適にする」チームプロジェクトが始まりました。異なる地域、学校、学年の4名が組み、課題に挑戦していきます。大人でも正解を知らないこの課題。各チームどのように協力し、解決をしていくのでしょうか。事務局や先生方、メンター一同、とても楽しみです。

